

第59回 技能五輪全国大会  
[タイル張り職種 競技課題]

次の注意事項及び仕様に従って、課題に示すタイル張り作業を行うこと。

1 競技時間

標準時間 9時間30分      打切時間 10時間30分

第1日目競技時間（作業時間 7時間）

競技 8時30分～12時00分  
 昼食 12時00分～12時50分  
 競技 13時00分～16時45分（15分の休憩含む）

第2日目競技時間（作業時間 3時間30分 ※打切までの1時間含む）

競技 8時30分～11時00分（標準時間）  
 ～12時00分（打切時間）

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 持参工具等は、「持参工具等一覧表」で指定した以外のものは使用しないこと。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中の服装は作業に適したものとする（保護帽の着用は無くてもよい）。
- (7) 使用モルタルの調合は、選手が行うこと。
- (8) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (9) 作業は周囲の清掃までとし、終了したことを競技委員に申し出て終了時刻を届け出る。
- (10) 作業場内では携帯電話の使用を禁止する（電源を切ること）。
- (11) 作業所は整理整頓し、けが等に注意して安全な作業を心がけること。
- (12) 作業中の水分補給、及びトイレについては制限しない。ただし、それにかかる時間は作業時間に含まれる。

3 仕様

- (1) 作業は、必ず陸墨及び地墨を出してから行うこと。
- (2) 壁の文字・飛行機・ヨット・海ほたるのタイル加工は、製作図を作成してから行うこと。
- (3) タイル張りは、次の点を特に留意して行うこと。
  - A 壁面のタイル張りは、接着剤を用い「しごき」塗りを含み二度塗りとする。
  - B 床のタイル張りは、必ず下地を作ること。
  - C 目地幅は、製作図の示すとおり仕上がるように適宜決定すること。
  - D 壁と床タイルは目通しとする。
  - E タイルの張り代は、慣習に従い適宜とする。
  - F 仕上げは目地掘り清掃し、目地詰め仕上げとする。
  - G タイル張り面の周囲は、タイルの「コバ」が見えるように仕上げる。
  - H タイル加工の切断部の目地幅は、標準目地幅とする。
  - I タイル加工の切り口同士を合わせる。

## 4 支給材料

番号	品名	色名	寸法又は規格	数量	備考
1	SPKC-100NET/B1016 (LIXIL)	ブルー	目地込み 100mm×100mm	423枚 (47シート)	壁:ベース (予備含む)
2	SPKC-100NET/B1001 (LIXIL)	スノー ホワイト	目地込み 100mm×100mm	72枚 (8シート)	壁:海ほたる、飛行機、 ヨット (予備含む)
3	SPKC-100NET/B1025 (LIXIL)	ブラック	目地込み 100mm×100mm	18枚 (2シート)	壁:海ほたる (予備含む)
4	SPKC-100NET/B1004 (LIXIL)	グレー	目地込み 100mm×100mm	36枚 (4シート)	壁:接続道路 (予備含む)
5	P10-FC73 (KY タイル)	フラン ボワーズ	目地込み 100mm×100mm	36枚 (4シート)	壁:文字 (予備含む)
6	P10-FC45 (KY タイル)	ブルー・ロワ	目地込み 100mm×100mm	45枚 (5シート)	壁:海 (予備含む)
7	P10-FC75 (KY タイル)	コクリコー	目地込み 100mm×100mm	9枚 (1シート)	壁:太陽 (中心) (予備含む)
8	P10-FC28 (KY タイル)	フー	目地込み 100mm×100mm	9枚 (1シート)	壁:太陽 (間) (予備含む)
9	P10-FC25 (KY タイル)	ジョーヌ・ ミモサ	目地込み 100mm×100mm	9枚 (1シート)	壁:太陽 (端) (予備含む)
10	JIN-100NET/22 (LIXIL)	薄黄色	目地込み 100mm×100mm	81枚 (9シート)	床:ベース (予備含む)
11	JIN-100NET/35 (LIXIL)	ネイビー	目地込み 100mm×100mm	189枚 (21シート)	床:文字、輪郭 (予備含む)
12	有機質接着剤		JIS規格品	1袋	10kg
13	混和剤(MC系)		JIS規格品	1袋	50g~70g
14	普通ポルトランドセメント		JIS規格品	1袋	1袋
15	砂 (通し砂)		良質のもの	75kg	ふるい砂3袋
16	珪砂5号		JIS規格品	6kg	
17	既製調合目地セメント	白色	JIS規格品	8kg	壁用
18	既製調合目地セメント	濃灰色	JIS規格品	6kg	床用

第59回 技能五輪全国大会 タイル張り職種

持参工具等一覧

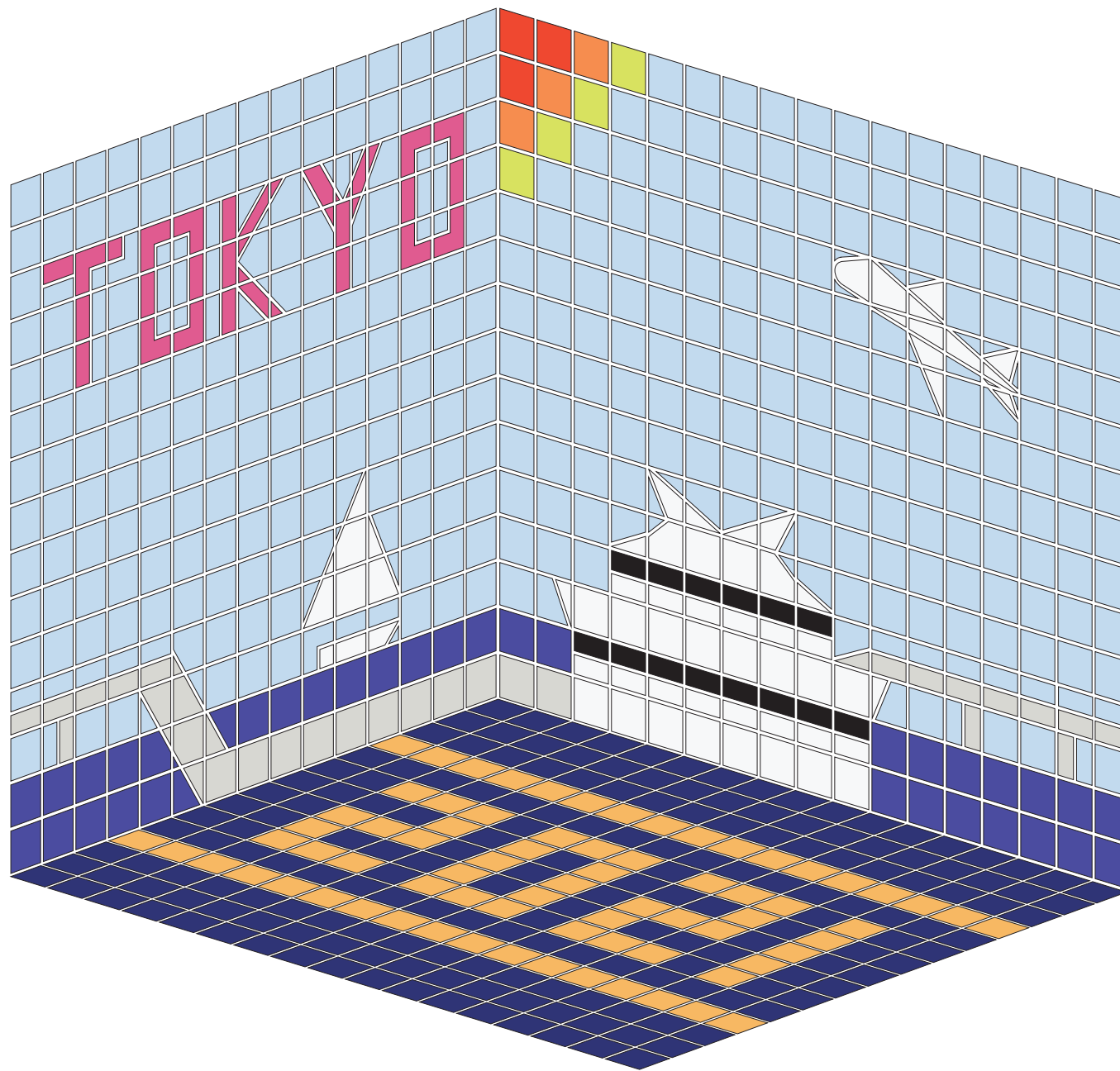
(1) 選手が持参するもの

品名	数量	備考
さしがね	適宜	JISマーク製品で正確なもの
スケール(巻尺・直尺でも可)	適宜	
墨つぼ・墨さし	適宜	
下げ振り	適宜	
水平器(水準器)	適宜	水盛りかん可。レーザー可
タイルごて	適宜	
れんがごて	適宜	
目地ごて	適宜	
中首ごて	適宜	塗りごて・木ごて・ゴムごて・くし目ごて等
柳葉ごて	適宜	四半ごて
こて板	適宜	
金づち	適宜	大金づち(大とん)、小金づち(小とん)各1
タイルカッター	適宜	電動式カッター使用禁止
タイル切り台	適宜	押し切り台でもよい
モザイク切り	適宜	
研磨工具	適宜	金剛といし等
タイル用きり	適宜	
糸	適宜	
ブラシ	適宜	
筆記用具等	適宜	文字・数字・デザインタイル加工製作図作成用等
コンパス・ハサミ・カッターナイフ等	適宜	タイル加工製作図作成用等
養生テープ	適宜	
のこぎり	適宜	定木・ベニヤ等切断用
水ひしゃく	適宜	
手ぐわ	適宜	
清掃用具	適宜	ほうき・ちりぼうき・ちりとり・ウエス・スポンジ等
作業用踏板(モザイク板)	適宜	床の施工時に使用する
スペーサー	適宜	タイル加工時に使用する
たたき板	適宜	
皮すき	適宜	
アルミ定木	適宜	

- ※注1 上記以外の工具・器具の使用はできない。  
 2 同一種類の工具を予備として使用してもさしつかえない。  
 3 型定規の作成は、競技中に会場で行うこと。

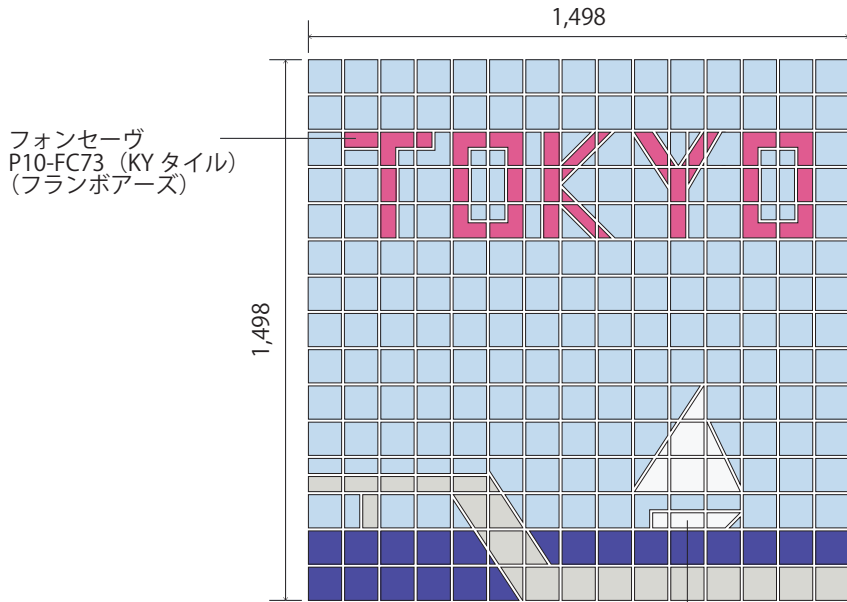
(2) 競技会場に準備されているもの

品名	数量	寸法又は規格
作業台	1	1820mm×910mm (タイル加工製作図用, 切物加工)
刃定木	3	1800mm
バケツ	3	約15L入り
ベニヤ板	1	1790mm×880mm×5.5mm (タイル加工製作図用)
ベニヤ板	1	895mm×880mm×5.5mm (タイル加工製作図用)
とろ舟(小)	1	約20L入り (タイル加工 切物用)
とろ舟(中)	1	約60L入り (床モルタル用)
型紙	2	1100mm×800mm (タイル加工製作図用)



第 59 回技能五輪全国大会『タイル張り』職種競技課題

側面図



フォンセーヴ  
P10-FC75 (KY タイル)  
(コクリコー)

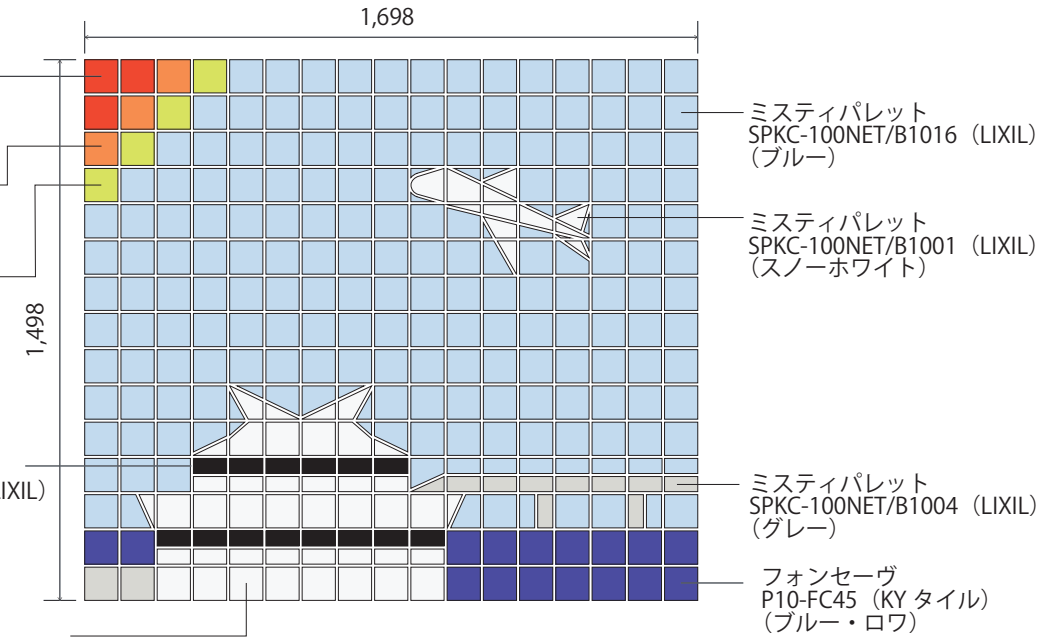
フォンセーヴ  
P10-FC28 (KY タイル)  
(フー)

フォンセーヴ  
P10-FC25 (KY タイル)  
(ジョーヌ・ミモザ)

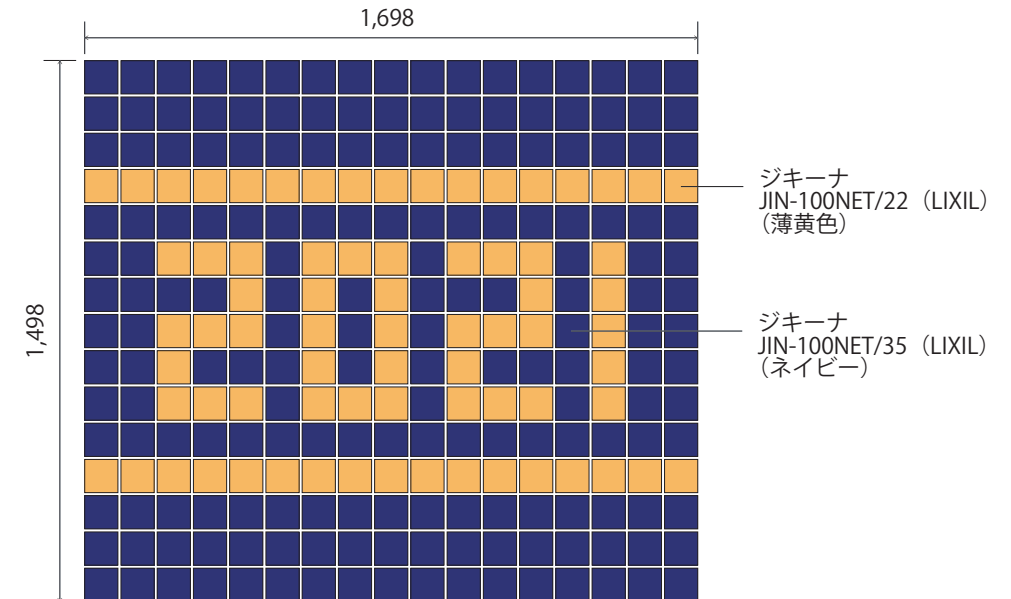
ミスティパレット  
SPKC-100NET/B1025 (LIXIL)  
(ブラック)

ミスティパレット  
SPKC-100NET/B1001 (LIXIL)  
(スノーホワイト)

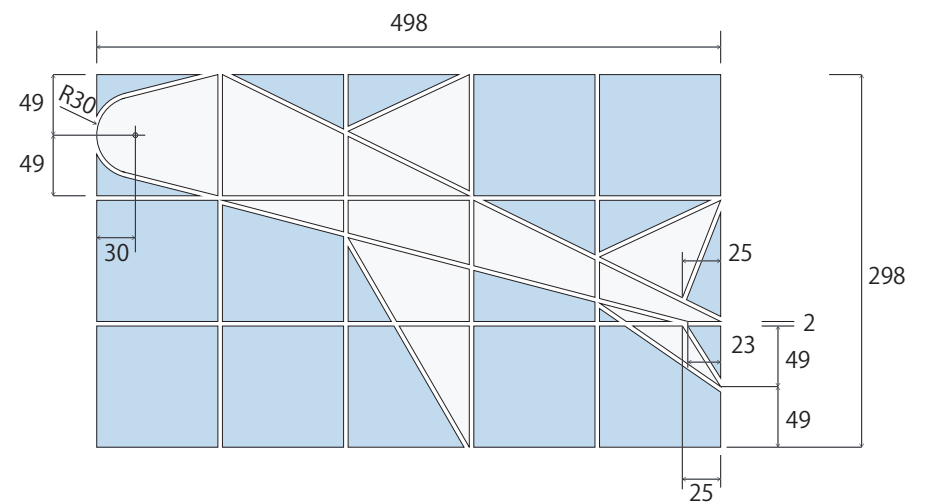
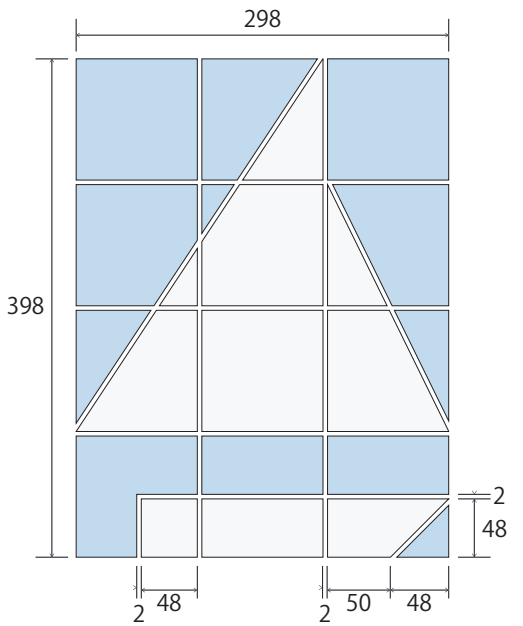
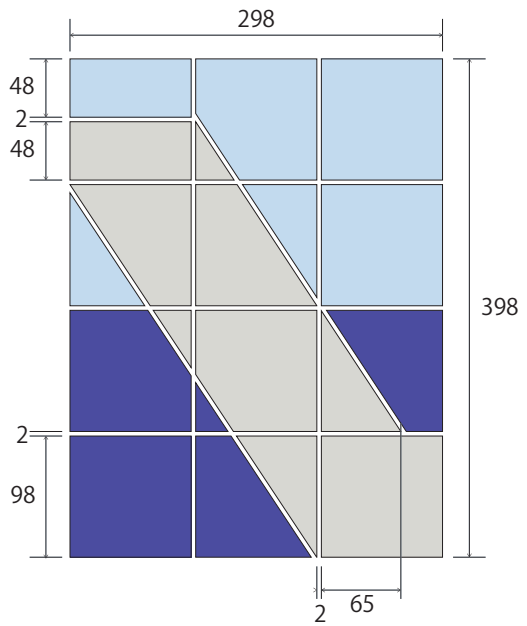
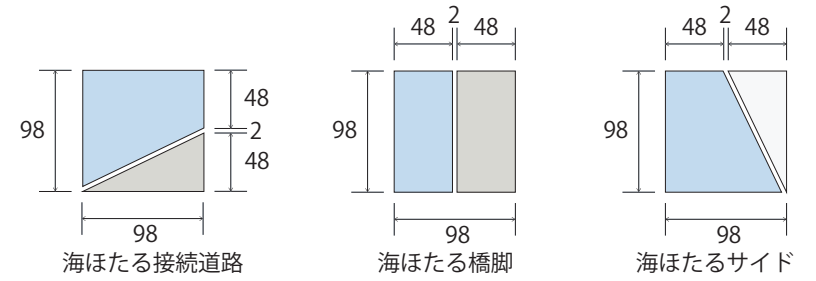
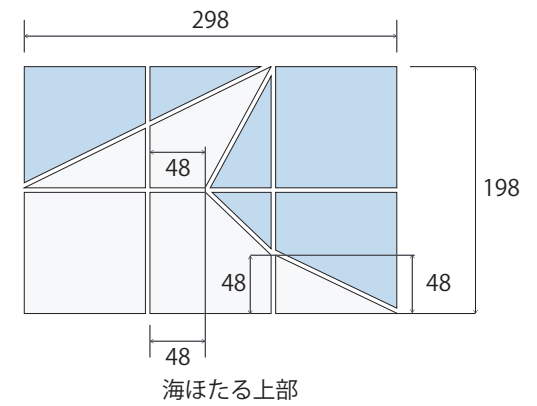
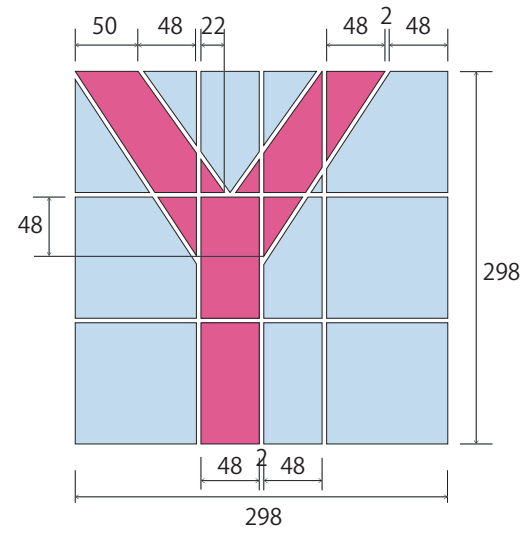
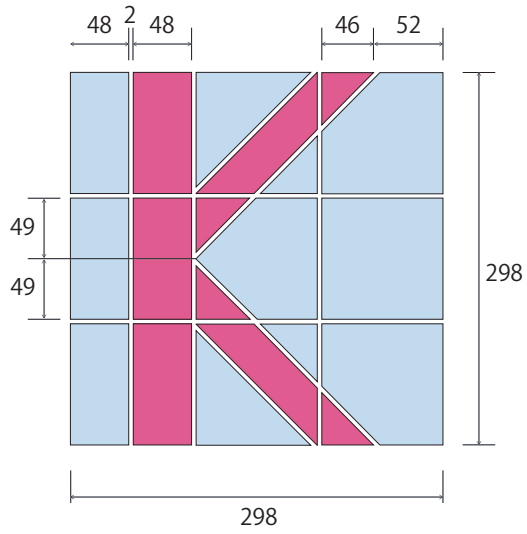
正面図



平面図



第 59 回技能五輪全国大会 加工タイル作製説明図



# 公 表

## 第59回 技能五輪全国大会「タイル張り」職種採点基準

### 1 採点項目及び配点

採点項目及び最大の減点数は、次のとおりとする。

採点項目		最大減点数	
施工法	段取り	手順の良否・墨の出し方・表し方。	5
		図面の見方・製作図の作り方。	
		タイルの割付け。	
		タイル加工・仕上げ方。	
	張付け	モルタルの扱い方。	
		こてさばき・張り方・納め方。	
	仕上げ	目地の掘り方・塗り付け。	
		仕上げ方・清掃の方法。	
外観	目地のとおり・目地幅のそろい。	8	
	水平・垂直・平面精度。		
	張付け周囲のモルタル処理。		
	加工タイルの仕上がり具合。		
	総体的な出来栄え。		
	清掃の良否。		
材料・再請求	追加支給したタイル。	100 以上	
作業時間	標準時間及び打切時間からの超過時間を測る。	60	
精度	寸法	任意の 10 箇所を測定する。 測定箇所は、構造全体が 6 箇所（高さ：2 箇所、幅：4 箇所）、加工タイルが 4 箇所である。	100 以上
	角度	角度（90 度）を確認するため、任意の 9 箇所にさしがねを当てその間隙を隙間ゲージで測定する。 測定箇所は、壁面と床面との角度が 6 箇所、施工面の角度が 3 箇所である。	
	平面	平滑性を確認するため、施工面や端面の任意の 8 箇所に定規を当て隙間を測定する。 測定箇所は、施工面が 3 箇所、端面が 5 箇所である。	
	水平・垂直	水平性・垂直性を確認するため、任意の 5 箇所に水準器を水平・垂直に当てタイルとの間隙の最大値を隙間ゲージで測定する。測定箇所は、壁面の垂直が 2 箇所、壁面・床面の水平が 3 箇所である。	
仕様誤り (不良施工)	墨出しをしないで作業した。	100 以上	
	タイル加工用の製作図を作成しないでタイル加工した。		
	競技課題図に基づいて製作していない。		
	割れたり欠けたタイルを張っている。		
	表面に傷のあるタイルを張っている。		

仕様誤り (不良施工)		寸法を誤って切断したタイルを張っている。	
		切物の向け方を誤ったもの。	
		目地掘りをしていない。	
作業態度	不安全作業	自分が怪我をした。	30
		他人に著しく迷惑をかけた。	
		作業に適した服装をしていない。	
	整理整頓	整理・整頓が悪い。	
材料・工具等の取扱いが悪い。			
抜取検査		任意の数箇所におけるタイル裏面のモルタルの付き具合及び回り具合。	36

## 2 採点方式

採点は、減点方式とし、「項目別採点基準」に示す採点項目ごとに減点を行い、配点100点から減点総計を差し引いたものを最終得点とする。

なお、最終得点がマイナス点となる場合は、0点として処理する。